

平成27年10月6日（火）に北海道立教育研究所において、第5回共同研究推進委員会を開催しました。

前半は、第15次共同研究の研究内容に関わる各機関及び域内の取組や各教育研究所等が抱えている課題について協議を行いました。

後半の演習では、「SWOT分析」を通して自校を取り巻く内外環境の強みの生かし方と弱みを克服する方策を検討しました。



【第15次共同研究についての協議の様子】

【協議】

第70回北海道教育研究所連盟研究発表大会（渡島大会）兼第57回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会の各部会における協議内容等の報告及び第15次共同研究の内容について協議を行いました。

＜内容の一部＞

- ・ 研究所の研究内容に基づき、所員が授業公開を行い、研究内容の周知を図っている。
- ・ 域内の各学校においてメンターチームによる授業研究を推進し、若手教員の実践力の向上及びミドルリーダーの指導力の向上を図る取組を進めている。
- ・ 校内研究の活性化に向け、ミニ道研や共同研究推進委員会での講座の資料を活用し、各学校に支援している。



【SWOT分析による演習の様子】

【説明・演習】

事務局より「カリキュラム・マネジメント」について説明した後、「SWOT分析」の演習を行いました。

＜交流した内容＞

- ・ 研究協議において、発言者に偏りがあるという内部環境の弱みがあり、その解決策として、校内研修にワークショップ型の研修を取り入れることが考えられる。
- ・ 習熟度別少数人数指導の指導方法について、指導内容等の共通理解が図られていなかったりするなどの状況があり、その解決策として、教材研究の進め方や指導方法の共有化に係る外部講師を招いた校内研修を実施することが考えられる。